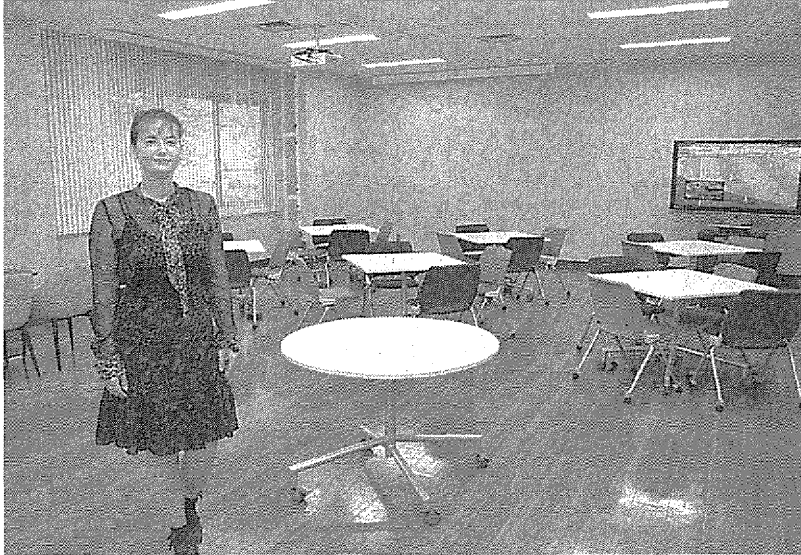


# 留学生と日本人学生結ぶ場に

## 九州工業大情報工学部



グローバルコミュニケーションラウンジでスタッフを務める  
マーリナ・ウィタリーナさん

# 国際ラウンジ開設へ

外国語のコミュニケーション能力を高めようと、九州工業大情報工学部(飯塚市川津)は日本人学生と留学生の交流の場「グローバルコミュニケーションラウンジ」を7月1日、同学部の福利棟1階に開設する。学生や留学生が談笑できるようなテーブルやソファを置き、外国語が堪能なスタッフが常駐して交流を手助けする。延山英沢学部長は「英語などで気軽に意思疎通して『楽しい』と感じてほしい」と期待している。

ラウンジは広さ約100平方メートル。月々金曜の午前11時から午後7時に利用できる。海外の番組を放映するテレビや冷蔵庫、電子レンジを置き、食事もできる。大型スクリーンもあり、研究発表や少人数の講義でも利用できるほか、大学院のゼミを英語で開く計画もあるという。

常駐スタッフの1人、マーリナ・ウィタリーナさん(33)は飯塚市在住のロシア人。既に4月から図書館で日本人学生と留学生をつなぐ活動に取り組みしており、「日本人学生が留学に挑戦する後押しもしたい」と張り切る。英会話講師でもあるマーリナさんは、ラウンジで留学生や学生に英語を教える予定だ。

このほかブラジルで暮らした経験があり、ポルトガ

ル語やスペイン語、英語を話せる日本人の女性スタッフもマーリナさんと交代で常駐。日本語が苦手な留学生に対し、各種手続きの書類を日本語で作成する手伝いもある。日本人学生と留学生をアルバイトで雇い、交流の仲立ちをしようという計画もある。

## 外国人スタッフら常駐

壁紙は、マーリナさんの意見を取り入れ、明るい緑のペーパーミント色にした。同学部には中国、韓国、マレーシア、インドなど十数カ国・地域の75人の留学生が学んでいる。マーリナさんは「人が交わる場所になりたい。遊びに行きたい」という留学生と、学生をつなぐお手伝いができれば」と話す。

(野津原広中)